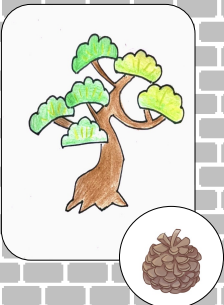


幸せのまつ
Happy Pine



発行
春日部市社会福祉協議会
幸松地区支部
問い合わせ
春日部市社会福祉協議会
住所：春日部市中央2-24-1
電話：048-762-1081



防災まちづくりの講演会

令和8年（2026年）2月27日（金）に幸松地区支部社協視察県外研修を実施しました。

今年は茨城県常総市の根新田町内会を訪問し、防災のまちづくりについてお話を伺いました。平成27年（2015年）9月関東・東北豪雨による鬼怒川の決壊で被害を受けており、当時の様子や思いを伺うことが出来ました。

安否確認には自治会の組織をそのまま活用する

幸松地区支部社協視察県外研修 茨城県常総市根新田（おしんでん） 町内会で防災講話

ことが、迅速な対応に繋がっていることを学びました。また、「無事ですタオル」を活用した防災訓練には自治会員の9割が参加されていることや、以前からSMS一斉送信システムを運用しており、日常の情報も発信することで日頃からの繋がりを大切にする、個々の意識を高めていかなければ地域防災は成り立たないことを改めて感じました。

マイ・タイムライン（防災行動計画）*の取り組みもされており、「『大丈夫』の連鎖で、根拠のない判断が生死を分ける」と実際の経験に基づいたお話もあり、参加者も熱心に意見交換しており、大変有意義な研



弘法大師

樋堀大師像

昔、この地に新義真言宗最勝院の末寺で白雲山正福寺という寺があった。この正福寺に文政の頃（西暦一八一八年）、一人の旅僧が弘法大師とほか二幅の画像を描いた掛軸を背負って来訪し数日宿泊したという。旅僧が寺を去ろうとすると、急に足腰が痛み出発が出来なくなつたという。再び出発しようとする

この大師様については、古老からの話や本寺の最勝院にも語り伝えられているところによると、樋堀大師は西新井、川崎大師と共に関東三大師といわれており、首の樋堀大師、胴の西新井大師、手足の川崎大師といわれている。昔から靈驗あらたかな厄除大師として、地区民はもとより近在からの参拝人を集め、守護崇拝されてきたものである。なお、正福寺は明治の初期、無住寺であったため、廃仏毀釈令によつて廃寺となつたが、地区民はこの建物を大師堂と改めて大師様を祀り護持してきた。この後、大師堂は関東大震災により倒壊するなどしたが、二回再建された。現在の建物は昭和61年11月（西暦一九八六年）に再建され、現在に至っている。なお、厄除大師祭は毎年4月21日に開帳されている。

住所：春日部市樋堀2



牛島ほほえみ会のみなさん＝6月25日

毎月第4木曜日の午前10時から11時30分まで、幸松市民センターで開催されている「牛島ほほえみ会」。このサロンは、平成28年（2016年）5月に牛島2番・3番地区の自治会長や民生委員が「地域の高齢者が気軽に集える場をつくりたい」「健康寿命を楽しく伸ばしていこう」と声を掛け合い、発足しました。

取材した6月25日は、「全身の体操」からスタートし、「日本語クイズ」、参加者全員で楽しむ「ゲーム（この日はフルーツバスケット）」、そして景品付きの「ビンゴ大会」、最後はその日選んだ歌をみんなで「合唱」し、笑顔あふれる90分となりました。

この日の参加者は17名。発足当初から参加している方もいれば、参加し始めてまだ3か月という方もいました。

「一人暮らしなので、人と交流できる月に1回のこのサロン

を心待ちにしています」「参加してまだ間もないですが、年齢や性別に関係なく楽しめる場所です。今では生活の一部になっています」と参加者の皆さんは、顔をほころばせながら感想を話していました。

自治会長の高橋さん、村山さんは、「高齢になると、身体を動かす機会や人と交流する機会が少なくなります。このサロンが、身体も心もほぐし、ストレスを発散できる場所となり、地域の皆さんが健康で、仲良く過ごせるきっかけになればと思います」「サロンが発



牛島ほほえみ会「日本語クイズ」

足してから10年。私たち運営スタッフも参加者の皆さんと一緒に楽しみながら続けてきました。気が付けば、あつという間の10年間でした」と話してくださいました。

参加できるのは、牛島2番・3番地区にお住まいの65歳以上の方です。「参加してみたい」という方は、開催日に直接、幸松市民センターへお越しください。地域の皆さんとの温かな交流が、そこで待っています。

< 幸松地区の行事 > 日程や内容は変更になる場合がありますのでご了承ください。		
内容	日程	場所
幸松地区体育祭	10月11日（日）	東中学校グラウンド
ふれあい文化祭	11月14日（土）・15日（日）	幸松市民センター
牛島地区ふれあい食事会	10月28日（水）	※ 単身高齢者・ご夫婦高齢者の対象者には、別途案内がありますのでご確認ください。
小湊地区ふれあい食事会	11月14日（土）	
八丁目地区ふれあい食事会	11月29日（日）	
幸松・連合地区ふれあい会食事会	12月4日（金）	
不動院野地区ふれあい食事会	11月8日（日）	

第8号「幸せのまつ」を最後までお読みいただきありがとうございます。

今回の特集は、「防火について」でしたが、いかがだったでしょうか。地域の防災訓練の参加や高齢者のいらつしやるご家庭での避難経路や避難方法確認など家庭や地域ぐるみで防火対策を具体的に考えておく機会にしたいだければと思います。

これからも「幸せのまつ」、身近な話題をいねいにお届けしていきますので温かく見守っていただければ幸いです。

（小野）

編集後記

広告募集(約4.3×5.5cm) 「幸せのまつ」に広告を掲載しませんか？
当該の枠が広告の原寸サイズです。

掲載料 3000円 (1回につき)
発行回数 年2回 (4月・10月)
発行部数 7500部
配付先 自治会加入者・公共施設
問合せ 春日部市社会福祉協議会

防災対策 火災への備え

地域の
つながり防災
知識防災
訓練

春日部市の令和7年中の火災発生件数は82件（前年比27件増）となっており、約4.5日に1件の割合で火災が発生しています。火災の多くは身近なところから起こっています。日頃からのちょっとした心がけで、大切な命や財産を守りましょう。

住宅防火いのちを守る10のポイント

4つの習慣



①寝タバコは絶対にしない。させない



②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



③コンロを使うときは火のそばを離れない



④コンセントはホコリを清掃し、不要なプラグは抜く

6つの対策



①火災の発生を防ぐために、ストーブやコンロ等は安全装置の付いた機器を使用する



②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する



④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく



⑤避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



⑥防火防災訓練への参加や、近所で声かけを行うなど、地域ぐるみの防火対策を行う

最近増えています！リチウムイオン電池の火災！！

リチウムイオン電池を使った身近な製品の例

モバイルバッテリー、携帯電話、スマートフォン、タブレット型携帯端末、電子たばこ、加熱式たばこ、充電式電気カミソリ、充電式電動歯ブラシ、ハンディファン、デジタルカメラ、充電式おもちゃ、ワイヤレスイヤホン等

正しく使いましょう

- ◆ 膨らんだ電池、変形した電池は使用しない！（発熱・発火する恐れがあります）
- ◆ 純正品や適合する充電器を使う！（合わないものを使うと、発熱・発火の原因になります）
- ◆ 充電中は目を離さない！（就寝中や長時間の充電は特に注意しましょう）
- ◆ ルールを守って捨てる！（有害・危険ごみの収集日に「赤色のコンテナ」へ）
①できるだけ充電を使い切る ②なるべく雨天を避けて出す
③端子部分に絶縁処理でビニールテープを貼る ④電池のみなら透明なビニール袋へ入れてから、電池が外せないものはそのまま赤色コンテナへ入れる）

春日部市ではリチウムイオン電池の回収ボックスを設置しています

設置場所：

- ・春日部市役所本庁舎1階 エスカレーター下
- ・庄和総合支所1階 エントランスホール
- ・武里出張所

回収時間：

開庁日 午前9時～午後5時まで

回収対象：

リチウムイオン電池、20センチメートル以下のリチウムイオン電池内蔵小型家電



防火対策は機器の適切な使用・管理点検だけではありません。

ご近所などとの、普段からのお付き合いが、災害時での助け合いに繋がります。

お互いに顔見知りであれば、いざというときにも、効果的な支援が期待できます。

防火防災訓練に参加するなど地域ぐるみで助け合える関係をつくるのが大切です。